

目次

まえがき 2

第1章 偏差値四十の就職氷河期

就活生は営業マン

バカを高く買ってくれる企業選び

偏差値四十の商社マン

10

13

17

第2章 地獄の幕開け

直立不動の三年間

地獄から這い上がるための第一歩

井の中の蛙も空を見上げる

蛙が立てた三カ年計画

好かれようとせず、好きになれ

22

26

30

33

37

第3章 運

二十五歳の業務長

人を育てようと思気込んだら、逆に育てられた

責任者の仕事はたった二つ

運が悪いと思うか、運が良いと思うかの大きな差

笑顔なきところに人あらず、人なきところに金はなし

46

51

59

66

70

第4章 不条理な世の中で、営業の世界は平等

大風呂敷を広げたらズッコケた半年

権限の委譲こそ営業マンを戦力化する

金を動かすより心を動かす

目の前の顧客に売ろうとするから売れない。売れる顧客を探すのが営業

結果がすべて。これほど、平等な世界はない

78

86

90

99

105

第5章 月給七万円、新聞配達員の社長

誇りは驕りになっていないか？

売ったではなく買っていただいた

自分から動かない人間はどんどん置いていかれる

夢や理想に騙されない

本当に必要なものは覚悟

138 135 129 125 120

あとがき

150

参考文献

153